



平成24年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年8月12日

上場取引所 東

上場会社名 ラサ工業株式会社

コード番号 4022 URL <http://www.rasa.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 庄司 宇秀

問合せ先責任者 (役職名) 取締役財務部長

(氏名) 永戸 正規

TEL 03-3278-3892

四半期報告書提出予定日 平成23年8月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第1四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第1四半期	5,273	△11.8	444	40.7	397	132.8	319	75.5
23年3月期第1四半期	5,980	11.3	315	—	170	—	182	—

(注) 包括利益 24年3月期第1四半期 313百万円 (74.6%) 23年3月期第1四半期 179百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第1四半期	4.03	—
23年3月期第1四半期	2.30	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
24年3月期第1四半期	31,819	5,852	18.1	72.51
23年3月期	32,441	5,444	16.8	68.53

(参考) 自己資本 24年3月期第1四半期 5,750百万円 23年3月期 5,434百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	—	—	0.00	0.00
24年3月期	—	—	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	10,800	△11.2	700	△14.0	400	△26.6	400	180.9	5.04
通期	22,500	△5.2	1,750	1.7	1,200	1.9	1,150	48.9	14.50

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

24年3月期1Q	79,442,038 株	23年3月期	79,442,038 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

24年3月期1Q	138,944 株	23年3月期	138,419 株
----------	-----------	--------	-----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年3月期1Q	79,303,330 株	23年3月期1Q	79,306,019 株
----------	--------------	----------	--------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、上記予想に関する事項は、四半期決算短信(添付資料)3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(その他)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表等	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報等	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間における我が国経済は、東日本大震災の影響から、個人消費や雇用情勢に更なる停滞が生じ、電力供給の不安定感により工業生産への影響が顕在化し、円高基調の継続も加わり景気の先行きには、強い不透明感があるものといわざるを得ない状況となっております。

このような環境下当社グループにおきましては、震災により被害を受けた生産設備の早期復旧に全力を挙げるとともに、財務体質の強化、経費削減の継続などに重点的に取り組み業績の向上に努めてまいりました。

この結果、シリコンウェハー再生事業から撤退したことを主因として、当第1四半期連結累計期間の売上高は、52億73百万円(前年同期比11.8%減)と減少したものの、営業利益は、4億44百万円(前年同期比40.7%増)と、大幅な改善となりました。

当社グループのセグメント別の概況は、次のとおりであります。

①化成事業

燐酸などの燐系製品は、積極的な拡販策を実施したことが成果を結び、一般品・電子工業用高純度品ともに出荷量が堅調に増加し増収となりました。

水処理用などの凝集剤は、上下水道向けが軟調裡に推移し減収となりました。コンデンサー向け原料は、若干の数量減はあったもののほぼ横ばいで堅調に推移しました。また、消臭剤は、前期から引き続きフル生産の状況が続き増収となりました。

この結果、当セグメントの売上高は、34億98百万円(前年同期比1.4%減)、セグメント利益(営業利益)は、4億4百万円(前年同期比17.9%増)となりました。

②機械事業

破砕関連機械につきましては、単体販売が依然軟調に推移したものの、消耗部品、プラントが比較的堅調に推移したこと増収となりました。下水道関連の掘進機は、雨水排水対策向けの大型物件のレンタルの受注が増加したものの、本体販売では小型機種受注が多く減収となりました。

この結果、当セグメントの売上高は、9億37百万円(前年同期比2.8%減)、セグメント利益(営業利益)は、64百万円(前年同期比17.2%減)となりました。

③電子材料事業

化合物半導体向け高純度無機素材につきましては、東日本大震災により生産設備が被災したことにより、一部製品の生産が滞ったことに加え、計画停電や電力削減による影響も顕在化しましたが、全般的には需要が堅調であったことから売り上げを伸ばしました。

この結果、当セグメントの売上高は、シリコンウェハー再生事業の撤退により4億40百万円(前年同期比56.1%減)と大幅に減少したものの、セグメント利益(営業利益)は、1億6百万円(前年同期比443.3%増)となりました。

④その他

石油精製用触媒の再生事業は、東日本大震災の生産設備への影響は軽微でしたが、出荷を予定していた顧客に被害があったため、若干の減収となりました。精密機械加工は、液晶装置向けの需要が急激に落ち込んだことから大幅な減収となりました。不動産の賃貸は、旧再生ウェハー関連工場建屋の賃貸も加わったため、増収となりましたが原価増の影響を受け大幅な減益となりました。

この結果、当セグメントの売上高は、3億96百万円(前年同期比14.6%減)、セグメント利益(営業利益)は、1億13百万円(前年同期比25.2%減)となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末における資産につきましては、流動資産が前連結会計年度末に比べて2億17百万円減少し、148億33百万円となりました。この主な増減理由としては、受取手形及び売掛金の減少1億34百万円、現金及び預金の減少1億26百万円等によるものであります。固定資産は前連結会計年度末に比べて4億4百万円減少したことにより、169億86百万円となりました。この主な増減理由としては、有形固定資産の減少3億15百万円等によるものであります。

当第1四半期連結会計期間末における負債につきましては、主として長期借入金の減少7億62百万円、短期借入金の減少3億82百万円などによって、前連結会計年度末に比べて10億30百万円減少し259億66百万円となりました。

当第1四半期連結会計期間末における純資産につきましては、主として四半期純利益3億19百万円の計上による増加などによって、前連結会計年度末に比べて4億8百万円増加し58億52百万円となりました。

この結果、当第1四半期連結会計期間末における資産合計は318億19百万円となり、自己資本比率は18.1%となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

今後の見通しといたしましては、世界経済は緩やかな回復が続くものと思われませんが、欧州、米国の債務問題や新興国におけるインフレ抑制策による景気下振れリスクが存在しております。また、国内経済はサプライチェーンの回復が見られ景気が持ち直していくものと見込まれますが、電力供給の制約、円高の進行、またこれらが工業生産の海外移転の動きを惹起するなど、景気の先行きには、強い不透明感があります。

このような見通しの中、化成品事業においては、携帯情報端末等の需要に下支えされていた電子部品業界が、今後サプライチェーンの回復に伴い需要が堅調に推移すると見込まれることから、高純度磷酸を中心に今後も順調に推移するものと見込んでおります。電子材料事業においては、高純度無機素材が携帯情報端末等の市場拡大により、堅調な販売を見込んでおりますが、電力供給の制約により一部生産調整を行なっている取引先もあり、先行きに不透明感があります。機械事業においては、下水道関連の掘進機は、海外向けの受注がやや低調であります。破碎関連機械は廃材向けの本体、部品の販売が堅調に推移するものと見込んでおります。

なお、業績見通しにつきましては、現時点の業績が計画を上回って推移しているものの、通期予想に対する進捗率は期間経過割合と概ね同等であること、並びに先行きに多くの不透明要素があるため、現時点では見直しを行いません。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表等

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,700	4,574
受取手形及び売掛金	6,435	6,300
商品及び製品	1,265	1,285
仕掛品	940	1,139
原材料及び貯蔵品	815	760
その他	932	831
貸倒引当金	△39	△58
流動資産合計	15,050	14,833
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	6,090	5,986
機械装置及び運搬具（純額）	2,832	2,688
工具、器具及び備品（純額）	342	325
土地	5,183	5,142
リース資産（純額）	37	39
建設仮勘定	24	14
有形固定資産合計	14,511	14,196
無形固定資産		
借地権	919	919
その他	33	31
無形固定資産合計	953	950
投資その他の資産		
投資有価証券	1,110	1,080
その他	840	782
貸倒引当金	△25	△24
投資その他の資産合計	1,925	1,838
固定資産合計	17,390	16,986
資産合計	32,441	31,819

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,396	3,415
短期借入金	12,543	12,160
未払法人税等	30	13
賞与引当金	94	75
災害損失引当金	114	103
その他	1,477	1,663
流動負債合計	17,656	17,431
固定負債		
長期借入金	6,906	6,143
退職給付引当金	1,523	1,515
その他	910	875
固定負債合計	9,340	8,534
負債合計	26,997	25,966
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,443	8,443
利益剰余金	△2,724	△2,404
自己株式	△34	△34
株主資本合計	5,684	6,004
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△187	△216
為替換算調整勘定	△62	△37
その他の包括利益累計額合計	△249	△253
少数株主持分	9	102
純資産合計	5,444	5,852
負債純資産合計	32,441	31,819

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
売上高	5,980	5,273
売上原価	4,523	3,838
売上総利益	1,456	1,435
販売費及び一般管理費	1,140	990
営業利益	315	444
営業外収益		
受取配当金	17	10
受取地代家賃	9	8
貯蔵品売却益	—	56
その他	33	28
営業外収益合計	60	104
営業外費用		
支払利息	125	98
休止鉱山鉱害対策費用	23	20
その他	56	32
営業外費用合計	205	151
経常利益	170	397
特別利益		
賞与引当金戻入額	64	—
その他	10	—
特別利益合計	74	—
特別損失		
減損損失	—	34
災害による損失	—	33
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	47	—
その他	1	—
特別損失合計	48	68
税金等調整前四半期純利益	196	328
法人税、住民税及び事業税	31	18
法人税等調整額	△17	△10
法人税等合計	14	7
少数株主損益調整前四半期純利益	182	320
少数株主利益	0	1
四半期純利益	182	319

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	182	320
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	△103	△29
為替換算調整勘定	100	21
その他の包括利益合計	△3	△7
四半期包括利益	179	313
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	173	315
少数株主に係る四半期包括利益	5	△2

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間（自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	化成品 事業	機械事業	電子材料 事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	3,548	964	1,003	5,515	464	5,980	—	5,980
セグメント間の内部 売上高又は振替高	9	—	—	9	17	26	△26	—
計	3,557	964	1,003	5,525	481	6,006	△26	5,980
セグメント利益	342	77	19	439	151	591	△275	315

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、精密機械加工、一般産業機械の製造・販売、石油精製用触媒再生及び不動産の売買・賃貸等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△275百万円には、各報告セグメントに配賦していない全社費用△277百万円などが含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び研究開発費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間（自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	化成品 事業	機械事業	電子材料 事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	3,498	937	440	4,876	396	5,273	—	5,273
セグメント間の内部 売上高又は振替高	4	—	—	4	21	25	△25	—
計	3,503	937	440	4,881	417	5,299	△25	5,273
セグメント利益	404	64	106	574	113	687	△243	444

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、精密機械加工、一般産業機械の製造・販売、石油精製用触媒再生及び不動産の売買・賃貸等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△243百万円には、各報告セグメントに配賦していない全社費用△243百万円などが含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び研究開発費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

4. 「電子材料事業」に含まれていたシリコンウェハー再生事業は、前第3四半期連結会計期間末をもって撤退しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。